

秋闘終結、年末闘争へ

生活守るため全力を



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033-4
編集兼人 杉本一男
発行所 杉本一男
半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田
0968946-005

公判のお知らせ
11・9 三池大災害裁判公判
十二月二十三日午後一時から
福岡地方裁判所（52回）
9・28 坑内火災裁判公判
一月十六日午後一時から、同
右裁判所（44回）

期末手当、満額めざす

五十万円、五日に要求書提出

退職手当などの秋闘が終結し、いよいよ下期期末手当のたたかいに入りますが、いまだに苦しさを感じている生活を守るために全力をあげたたかいか求められています。

今年の上期期末手当闘争では、炭労第四回定期大会の決定に基づき、要求額を前期同様五十万円とし、十一月五日に各社に対して要求書を提出、中旬から交渉に入り、下旬の解決をめざします。

炭労、秋闘を妥結

退手、基礎賃金に五十円プラスの低額

この結果が示すように、石炭産三愛、太平洋の三社先行交渉として、必要額の鉄鋼が前年度妥結額を下回ったことや、炭価値上げの見通しが暗いことなどを理由に、前期マイナスイメージの強い方針で対決し、炭労は二日間のストライキをもってたたかいましたが、額上げに成功せずきわめてきびしい決着をみえています。

退手、基礎賃金に五十円プラスの低額という要求に対して、わが五十万のアップで五千三百二十円となり、昨年の額上げ二百七十円を大きく下回るもので、大きな不満が残りの取り扱い、自己都合退職の退手などは現行通りとなっています。



「協定」改訂交渉終わる

会社誠意ある回答せず

当面のCO闘争 不満ながら妥結

三年毎の「CO・遺族協定」の改訂をめぐる中央交渉は、十月十三日から十六日にかけて行われましたが、交渉は難航、十六日午前六時に先立つ十月十二日、山元ではCO・遺族諸要求貫徹決起集会を開いたあと、三池炭正門前とアソニット・三池縫製の両工場ですり込みに入り、交渉団・上京団とともにたたかい抜きまわした。中央交渉で会社は、石炭産業をとりまく情勢がきびしいこと、経

要求 会社補償として平均賃金の二〇％を支給すること。
回答 支給する。
※ 入通院見舞金、家族の入院見舞金、家族の交通費の額上げ
その他は現行通り
二、遺族関係
要求 遺族基金を増額せよ。
回答 新たに千五百万円を支出す。
※ 命日、盆暮のご公前、待機手当、両工場の特別退職手当、定年退職金別金、住宅手当などの額上げ
その他は現行通り
三、二十周年の特別措置
傷病補償年金の入院患者に二万円の見舞金、殉職者への供花料として一万円、両工場の遺族へ慰労金五万円を支給する。その他、くわしくは委員会が報告されます。

地底

▼二十年前の十一月九日の夜は冷え、一夜明けた朝は、霜で真っ白だった。東の鶴見の大火、そして西の三池では炭じん大爆発が起こった。この日をわれわれは「屈辱の日」と呼び、怨念のたかひは止むことなく続く。

11・9を前に入坑点検

三池大災害二十周年を前に、三池（一日）、四山（二日）、有明（三日）各鉱への執行部による入坑点検を実施します。

厚生年金改悪阻止で第一次の行動

炭労は、厚生年金改悪反対闘争の一環として十一月一日、五団体共闘（炭労・非鉄金属・全炭鉱・炭職場・資源労連）で第一次中央行動を行いますが、この行動には三池からも代表が参加します。

炭労、三池で厚生部長会議

炭労は、三池で開かれる総評主催の「労災職業病防止研修会」にあわせて厚生部長会議を開き、同研修会に参加するとともに、「十一・九三池大災害抗議集会」に参加します。



三池大災害 20周年抗議集会
提訴10周年
「生命を守る」たたかひの発展と
裁判闘争の勝利のために
11・9 水 1時開演 大牟田市民会館
三池労組・三池主婦会 総評・炭労

三池大災害二十周年
抗議集会のお知らせ
とき 十一月九日（水）
午後一時開演、一時三十分開会
ところ 大牟田市民会館大ホール
行事 第一部 ドキュメント・スライド
『二十年のたたかい』上映
第二部 抗議集会
※当日三池労組は二十四時間ストライキに突入します。
※終了後、三池鉱業所へのデモ行進を行います

一三池からの報告一 第6集
パンフレット『20年のたたかい』発行
CO闘争の発展と裁判闘争の勝利のために
体裁 B5版 グラビア入り 88ページ
内容 CO裁判の現状について
三池CO弁護団 小島 肇
精神医学から見たCO患者
都立松沢病院副院長 金子 嗣郎
炭鉱のいたみをわがいたみに
京都府立大学教授 細川 汀
三井資本の大罪は消えず
レポート、原告団、遺族会の訴え
資料 三池労組略年表、CO闘争略年表、裁判闘争記録
CO患者・遺族の実態など 33ページ
頒価 1,000円（送料240円）

▼「側面（そへい）の情」
を示したところ中置根・田中会談。
なんのことはない、刑事被告人で
断罪の下った田中に「思いやり」
とは、「猿芝居」「茶番劇」もい
いところ。グレナダへの米軍侵攻
を「理解」する中置根は閣内閣に
「けじめ」を遠慮し「中央突破」
をねがうが、「田中やめよ」の声
は列島中にこだまする。